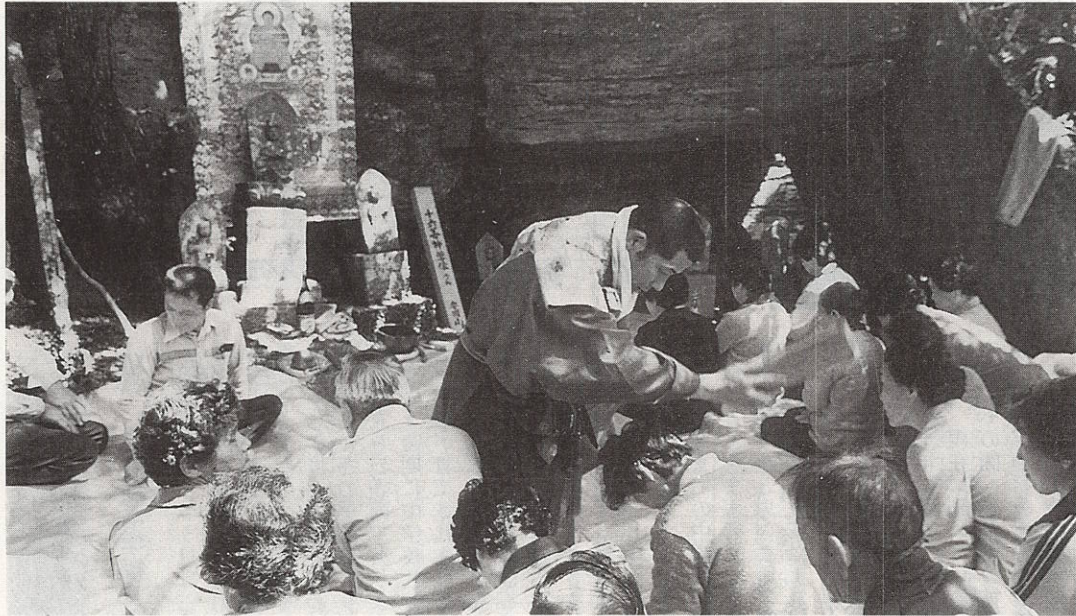




広報

みさぎ

町の規模		
世帯数	1,890戸	前月比 (-7)
人口	5,529人	(-35)
男	2,588人	(-13)
女	2,941人	(-22)
(昭和62年 3月31日現在)		
昭和62年 4月10日		No.124
発行 愛媛県西宇和郡三崎町		印刷 佐川印刷 KK
三崎町役場 ☎54-1111		編集 総務課



祈禱をうける登山者

伝統・信仰・祭

賑わう、三崎一の山

伽藍祭(ガール祭)

半島随一の高さを誇る(四一四メートル)伽藍山で毎年行なわれる春のお祭。今年(四月五日)の日曜日、好天に恵まれ大勢の人々が参加して賑わいました。観音様に囲まれた山の中腹に大般若経が開帳され、草ずももうも盛んだった過去に比べると賑わいも半減していると、老人の声。

かつては野村町方面からも信者はもちろん、力自慢の男達が押しつけてきていたとか。

又、町内の上手、下手の各部落から登ってくる善男善女でたちまち山は超満員、男衆は葦酒山門なんのその、年に一度の振舞弁当を肴に、瓢の上酒を呷って氣勢をあげ、女ご衆は晴着、化粧に身を飾り、今日一日はだれかれへの遠慮、気兼ねもいらさず大はしやぎで、子供たちは朝のうちに小使いをはいたいし、後は山中駆けずりまわり、木の枝、笹で草滑り、若い衆は角力で喧嘩さわぎと大変な祭であつたと伝えられています。

現在は、桜の開花に合わせて祭りの日を決め花見祭りのスタイルになっていますが、伝説の多い釈迦のウドでは、伝説寺のお和尚さん自ら登山し、大般若祈禱によって無病息災と子供の健康やかな成長を願う風景は、今も昔も変わらないようです。

町のあゆみ

三月の歴史

軽暖の春三月、三崎町が誕生した月でもある過去の出来事を調べてみました。

- 安政七年 (一八六〇) ○伽藍山三三番観世音建立
- 慶応三年 (一八六七) ○正野に移住者あり、部落形成
- 明治二九年 (一八九六) ○神松名村・三崎村に農会発足
- 大正十年 (一九二一) ○三崎のあこう樹、国指定の天然記念物となる。
- 昭和三年 (一九二八) ○三崎郵便局で電話交換開始
- 昭和九年 (一九三四) ○瀬戸内海国立公園に指定
- 昭和十一年 (一九三六) ○三崎港埋立工事開始
- 昭和二十年 (一九四五) ○艦載機の空襲を受ける。
- 昭和二十一年 (一九四六) ○別府航路再開、むらさき丸にしき丸就航
- 昭和三十年 (一九五五) ○三崎村、神松名村合併、三崎町となる。
- 昭和三十六年 (一九六一) ○神松名魚協と三崎魚協が合併
- 三崎漁業協同組合発足。
- 昭和四一年 (一九六六) ○町老人クラブ結成
- 昭和四三年 (一九六八) ○串中学校鉄筋校舎に改築
- 昭和四四年 (一九六九) ○三崎小学校鉄筋校舎に改築
- 昭和四六年 (一九七一) ○三崎診療所が改築
- 昭和四七年 (一九七二) ○二名津集会所新築
- 電話自動化(串地区を除く)
- 昭和四八年 (一九七三) ○串集会所新築
- 第一次総合振興計画ができる。
- 昭和五十年 (一九七五) ○三崎集会所新築(中尾)
- 昭和五一年 (一九七六) ○佐田集会所新築
- 昭和五二年 (一九七七) ○松小学校閉校(百一年の歴史)
- 釜木小学校閉校(九八年の歴史)
- 昭和五三年 (一九七八) ○松集会所新築
- 生活改善センター完成
- 昭和五四年 (一九七九) ○二名津診療所改築
- 昭和五六年 (一九八一) ○井野浦集会所新築
- 串小学校鉄筋校舎に改築
- 昭和五七年 (一九八二) ○名取集会所新築
- 二名津小学校鉄筋校舎に改築
- 昭和六十年 (一九八五) ○井野浦消防詰所改築
- 昭和六一年 (一九八六) ○二名津教員住宅新築
- 昭和六二年 (一九八七) ○三崎中学校代替用地造成工事着工

町のあゆみとして掲載してきましたが今回の三月で最終回となりました。長い間ご愛読ありがとうございました。



工 事 着 工 造 成 地 用 !!

工事費

五億三千三百万円

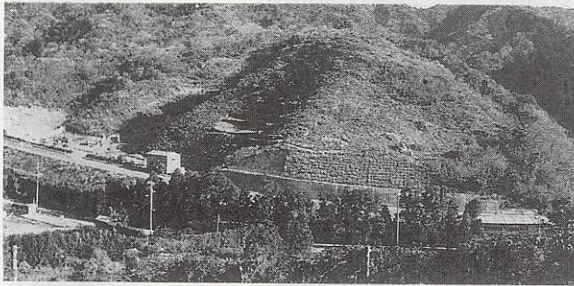
造成面積

一万二千六百八十四メートル方

昭和六十二年三月十二日三崎町の悲願とも言ふべき、三崎中学校代替用地(高移転用地)造成工事が着工しました。去る三月九日指名競争入札にて堀田建設が落札、三月十日の定例議会にて承認されました。

当事業は過疎化の進む我が町にとって、歯止めとなるべき事業で教育面だけでなく他方面にとっても重要な事業です。着工までには、色々な難問が山の様にあり、事業推進に当られた関係者の方々の苦勞が手にとるようです。完成は進入路も含んで昭和六十二年度末の予定で、待ち望む先生、生徒、父兄の声を紹介します。

伐採された造成ヶ所



事業概要	
進入路	200 m
造成面積	21,684㎡
切土	152,578㎡
盛土	167.235㎡
請負業者	堀田建設株式会社

着工に思うこと

前三崎中学校PTA会長 平 啓 善 幸

三月、四月という月は、教育界では特別な意味のある月でありまして、卒業、入学、退任、新任と子供たち、先生方それぞれ新しい年度へと向かうわけです。まさに冬の季節が去り、新しい芽立ちの季節であります。そういう時期に中学校代替用地造成工事が着工されましたことは、私たちPTA会員にとりましてはこれ以上の喜びはございません。今日の日を迎えるにあたり、御努力をいただきました関係諸機関、諸氏に対しましてあつくお礼を申し上げます。さて、新しい学校ということを考えるには今までの中学校の歴史というものをまず考えてみる必要があるかと思えます。昭和二十二年の学制改革により三崎村立三崎中学校として発足をし、昭和二十五年に新校舎が竣工いたしました。そして、町村合併により三十年に町立三崎中学と改称し、現在に到っているわけです。その間、運動場の拡張工事が、技術、理科教室等の増築がありました。皆御承知のとおり三崎高校との関係ということもぬきにしては三崎中学校を語ることが出来ないわけです。三崎高校は、二十六年に設立の認可があり、初代校長に当時の三崎中学校長の末広重之先生が兼務され、先生を中心として熱心な町民の努力により今日の高校があるわけです。地元に高校

三崎中三年 上田 重紀

この前までは、ごく普通の山だったのが今では、高校の新しい校舎を造るために木を切り倒してハゲ山になり、どんどん姿を変えています。

いつもはなにげなしに見ていた山も、今ではすっかり興味深く見るようになりました。

今の三崎中学校、三崎高等学校は木造建ての平屋建て。だから夏は暑くて冬は寒くすきま風がはいります。でも新しい校舎なら、すきま風はいるということはないので安心です。

今の三崎中には運動場がありません。だから高校と共存して使用しなければならぬので、

校舎も、運動場も、体育館も

三崎中三年 木野本 希

今、三崎高校の新しい校舎造りのため、工事が着々と進んでいます。

三崎中学校の運動場から、高校を造るための山が見えます。今は、木が切り倒され、はげ山になっていくけれど、あんな所に大きな校舎が建つだろうとは考えてもいませんでした。

どんな校舎になるのだろうか、私たちが高校生になると出来るのだろうか、といつも友達と話しています。出来上がりが楽しみです。

今の三崎中学校は、木造でも古い学校です。冬は隙間風が吹きつけ、雨が降ると雨漏りします。けれど、これでも昔よりは良くなったと聞いています。

とても不便です。特に夏頃になると野球部のボールが飛んで来て部活をしていると時々あたる人がいます。このようなあぶないことがあるので、早く校舎を造り運動場を別々にしてほしいものです。

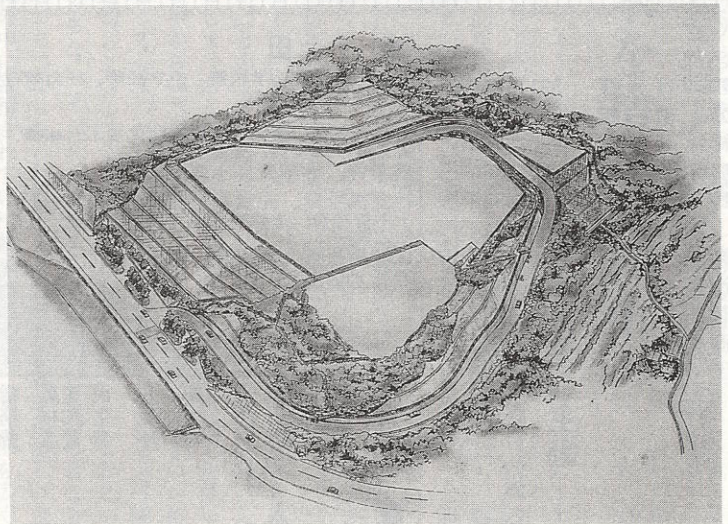
それから体育館です。土の上と板の上では感覚がまったく違います。だから大会に行った時など体育館でやり抜いていないだけに不利だと思います。このように三崎中は不便なことばかりなのです。これから数年間はこのようなことがあるのでその間の後輩がふびんでなりません。だから早く三崎中学校、三崎高等学校を造ってもらいたいのです。

それに、今まで運動場がなかったことが非常に残念です。陸上大会が近くなっても、高校の部活のため、思うように練習できませんでした。その他いろいろ不便な事が多いのです。もっと自由に使える運動場がほしいです。

私は、バレー部に入っています。いつも私たちはバレーコートで練習し、雨の日は、狭いプラハブで練習しています。大会に行っても、土の上と床の上とは全然違います。それに、体育館でしか練習できないものもあります。

私は体育館もほしいです。後何年かかかるか分かりませんが、すばらしい高校と中学校が出来てくることを期待しています。

住民悲願の中学校代替



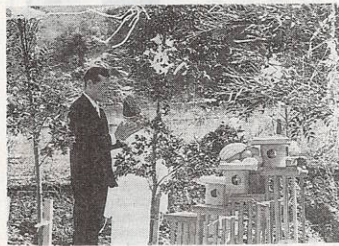
完成予想図

事業の無事故を祈って

昭和六十二年三月十八日午前十一時、堀田建設主催で地鎮祭が催されり事業主体の町より杉山町長他関係課職員、三崎町議会議員、三崎町議会地域振興対策特別委員会、関係日射しに映えていました。



鎮入れの儀鎌を行う町長



地主さんを代表して玉串を行う(兵頭さん)

校舎移転・改築によせて

前愛媛県立三崎高等学校長 玉井 力

日本は今、経済問題を中心、激動の国際化の波にもまれ、その真価を問われようとしています。そして、我が三崎高校も今、大きな転換期にあると言えます。生徒数の減少、頂上線の整備、そして校舎の新築移転と大きく変化しようとしている外、環境に於いての充実した学校にならなければなりません。

昭和60年度から、「基本を守り、新しい心身と豊かな人間性を育てよう」を努力目標として掲げてきましたが、今一度、「基本を守り」を見直し、「新しい心身と豊かな人間性」を目指したものです。先日の第36回卒業証書授与式において、私は次の三つのことを卒業生への饒けの言葉としました。第一に、「自己に厳しくあれ」。第二には、「人間に根ざす生き方をせよ」。そして第三には、「世界的な視点に立つてのものの考え方を進めよ」の三点です。激動の社会を乗り切るためには、あくまでも自己に厳しい責任感と豊かな人間性を備え、広い視野を持って人類の幸福を追求する姿勢を持たなければなりません。私の指導に励み、自らを律することに努め、勉学や部活動に励み、三崎高校の名を高めてくれた生徒諸君に敬意を表するとともに、一層の

精進を期待するものである。用地造成のための伐採の様子を見るにつけても、新校舎の完成を見ることなく転動することを中心残りに思いますが、「よく学び知性豊かで優しく、進んで働く、真面目な日本人になろう。」という教育方針と、「勉学・誠実・礼節・勤労・感謝」という立派な校訓に支えられた三崎高校であるから、必ず新校舎にふさわしい生徒が育つことを確信し、輝かしい前途を頼もしく思っております。

最後になりましたが、用地造成に至るまでの町当局の関係各位の御尽力に対しまして衷心より感謝申し上げますとともに、今後共、一層の御支援をお願い申し上げます。

新校舎の用地造成に思う

三年 速水万里子

新校舎の用地造成工事と言っても、正直なところ、自分たちが通学できるわけではないので強い感動といったものはありませんが、木を焼いている白い煙や削られた山肌を見ていると、いよいよなのだなぁと感じます。

新校舎について、ひよっとしたら風が強いのではないか、国道を横切る回数が増えて危険なのではないだろうかなどと余計

な心配をしたりもしますが、鉄筋何階建てだろうか、グラウンドの広さはどうだろうか、グラウンドと想像すると楽しくなつてきます。

新校舎になれば、冬に窓のすき間から雪が入りこむこともなくなり、新しい教室で気持ちよく勉強できるでしょう。しかし、私は今の木造校舎が嫌いではありません。あと何年かはこの校舎がなくなってしまうのかと思うと、なおさら名残り惜しく感じます。新校舎に入れないのは残念ですが、精一杯この木造校舎をみがき、三崎高校の良き伝統を伝えたいと思います。そして、



新校舎の用地造成に思う

三年 木野本貞治

新校舎が、あと二、三年早ければ、今在学中の私たちもできたの教室やグラウンドを使っていたのにと恨めしい気もしますが、何はともあれ移転改築はうれし

いかりです。

新しいグラウンドができれば、ぜひ硬式野球部をつくって欲しいです。やはり男は甲子園に憧れます。同じ野球をするなら硬式野球、同じ全国目指すなら甲子園です。現在のグラウンドではどうにもなりません、移転にあたりなんとか創部してもらいたいと思います。

はつきり言つて、学び舎がなくなるのは寂しいことです。風の吹き込む教室、臭い便所、腹痛の時に世話になった保健室、すべてが名残り惜しいものです。しかし、校舎は改築され移転しても、母校三崎高校は残ります。三崎高校がなくならないかぎり、私たちの母校への愛着はなくなりません。今、昭和二十六年当時の大先輩たちが、どのような思いで三崎高校を設立し、決意を抱いていたのかというのを考えます。私たちが今、三崎高校のあるべき姿を真剣に考え、気持ちも新たに頑張らなければならぬのだと思います。

62年度 当初予算37億9千3百万円

一般会計

二十億二千五百六万三千元

三月十日から十一日までの日程で開かれた昭和六十二年第一回定例町議会で、六十二年の当初予算が決まりました。

昭和六十二年の三崎町一般当初予算は、厳しい財政環境下でありながらも、限られた財源で重点的かつ効率的な配分に徹し、節度ある財政運営を行うことを基本とし、財政の健全化の推進及び住民福祉の確保に努めることを目的に、義務的経費等の年間見込額と普通建設事業のうち、継続事業を中心に編成し、予算総額は二十億二千五百六万三千元で、前年度当初と対比して二十三・五%の増となっています。

なお特別会計予算は、医療に要する経費と事業運営に要する経費を計上した国民健康保険特別会計で五億四千三百四十五万五千円(事業勘定歳出。老人保健特別会

歳 出

(教育総務費、小学校費、中学校費、社会教育費、保健体育費)

教育費	521,548千円
公債費	358,124千円
総務費	298,801千円
農林水産業費	250,206千円
民生費	193,553千円
土木費	153,194千円
衛生費	116,842千円
消防費	67,643千円
議会費	55,193千円
商工費	14,959千円
予備費	5,000千円

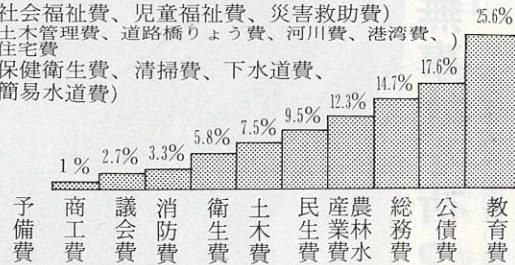
(総務管理費、徴税費、戸籍住民基本台帳費、選挙費、統計調査費、監査委員費)

(農業費、林業費、水産業費)

(社会福祉費、児童福祉費、災害救助費)

(土木管理費、道路橋りょう費、河川費、港湾費、)

(保健衛生費、清掃費、下水道費、簡易水道費)

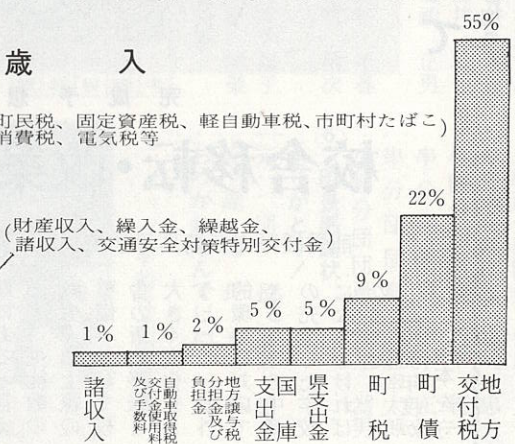


歳 入

(町民税、固定資産税、軽自動車税、市町村たばこ消費税、電気税等)

地方交付税	1,114,200千円
町税	182,471千円
地方譲与税	20,000千円
分担金及び負担金	20,164千円
自動車取得税交付金	13,000千円
使用料及び手数料	10,895千円
国庫支出金	93,895千円
県支出金	107,617千円
諸収入	18,421千円
町債	454,400千円

(財産収入、繰入金、繰越金、諸収入、交通安全対策特別交付金)



特別会計当初予算規模 (歳出)

会計別	予 算 額 (千円)	対前年度伸び率 (%)	
国民健康保健	事業勘定	543,455	0.1
	施設勘定	627,883	6.9
水道事業	収益的支出	80,304	5.9
	資本的支出	15,000	0.0
港湾整備	2,417	0.0	
土地取得	11,599	△5.1	
老人保健	477,390	3.4	
住宅新築資金等貸付事業	91	1.1	
総 額	1,758,139	3.6	

62年度 当初予算の主な事業

☆道路整備 80,000千円 (川内大田川原線)

☆港湾整備 68,000千円 (事業費)

☆産業の振興

漁港(与修、二名津) 120,100千円

農村地域定住促進対策事業 20,387千円

地域農業整備促進事業 3,236千円

活力あるふるさとづくり事業 2,383千円

かんきつ産地整備促進事業 912千円

かんきつ園地若返り対策事業 1,456千円

☆教育文化の振興

三崎中学校代替用地造成事業 378,500(533,000)

町長所信表明

要約

増税なき行財政改革のきびしい条件下での人づくり、町づくりの施策の中心は、まさに苦難の連続でしたが、皆々様のご尽力のおかげで、数々の施策の推進ができましたこと、共に喜びをわがちあいいたいと思います。町民の課題であります中学校代替用地造成事業が、ようやく軌道にのり、入札執行、本格的な着工の運びとなりました。まことに

島頂上線の完成を目前にいたし

又、第七次の三崎港湾整備計画の地区指定、宇和海マリノバースイオン構想の指定、さらには半

この上は一日も早く完成をめざしまして、住民の付託にお答えいたしたいものと念願する次第であります。

又、第七次の三崎港湾整備計画の地区指定、宇和海マリノバースイオン構想の指定、さらには半

本町のみならず、この僻地佐田岬半島全体の産業、経済、文化の発展に初光を見る思いがいたし、地域住民の夢ふくらむ期日の到来と考えます。

このように大きな転換期を迎えた今、私たちに何ができたかよりも今後何をなすべきかを考え、実行に移すことこそが課せられた責務であることを、痛感いたす次第であります。

今後とも更に、倍旧のご尽力を賜りますよう希望いたしますところでありませう。

議会情報

昭和六十二年三月十日開かれた第一回定例会において、三崎町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定外十五の案件が承認されました。

- 議案第一号 三崎町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第二号 三崎町保育園条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第三号 三崎町小集落改良住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第四号 育児休業に係る給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

年金だより

国民年金の保険料を納めることが困難な人は免除の申請手続きを試してみませんか

国民年金の保険料は一月、7,400円です。この保険料は『納付義務』の制度となつているため、納めていただかなければなりません。

しかし、所得がない、失業中であつたり多額の医療費を支払う、また、病気になる例年通りの収入が見込めなく保険料を納めることが経済的に困難な人は納付義務を『免除』する制度も



あります。免除になりますと、今年4月から来年3月まで一年間、保険料は納める必要はありません。ところが、この免除になつた期間は3分の1の年金になります。免除してもらいたい場合は、申請が必要です。申請をした人はお早目に(おそくとも7月までに)役場年金係へ印鑑をもつて、おいで下さい。

- 正する条例の制定について
- 議案第五号 昭和六十一年度三崎町一般会計補正予算(第五号)の制定について
- 議案第六号 昭和六十一年度三崎町国民健康保険特別会計補正予算(第四号)の制定について
- 議案第七号 昭和六十一年度三崎町水道事業会計補正予算(第四号)の制定について
- 議案第八号 昭和六十一年度三崎町一般会計予算の制定について
- 議案第九号 昭和六十一年度三崎町国民健康保険特別会計予算の制定について
- 議案第十号 昭和六十一年度三崎町港湾整備特別会計予算の制定について
- 議案第十一号 昭和六十一年度三崎町土地取得特別会計予算の制定について
- 議案第十二号 昭和六十一年度三崎町老人保健特別会計予算の制定について
- 議案第十三号 昭和六十一年度三崎町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算の制定について
- 議案第十四号 昭和六十一年度三崎町水道事業会計予算の制定について
- 議案第十五号 農村地域定住促進対策事業釜木地区農道新設工事の工事変更請負契約の締結について
- 議案第十六号 中学校代替用地(高校移転用地)造成工事の工事請負契約の締結について

基本的人権の尊重

五月三日の憲法記念日を中心とする五月一日から七日までの一週間は、憲法週間です。日本国憲法は、「基本的人権の尊重」を基本原則の一つとしています。この基本的人権とは、「われわれ人間が人間として生きていくために必要な最も大切な権利」です。しかし、最近の社会情勢を見ますと、憲法の保障するこの基本的人権は、残念ながら正しく認識されているとは言えない状態です。自己の権利に御相談ください。相談は、無料で、秘密は固く守られます。なお、当町の人権委員は、次の方々です。

門田 安義委員(三崎) 浜西 善男委員(二名津)

憲法週間(五月一日〜七日)

春の交通安全運動

安全はあなたが生むもの。安全をスローガンに、春の全国交通安全運動が、5月11日から20日までの10日間、県民総ぐるみで行われます。この運動は、広く県民の皆さんに交通安全の知識を普及し、交通安全思想の高揚を図るとともに、交通ルールとマナーの実践を習慣づけていただくことにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的としています。今回の運動の重点目標は、

- 子供と高齢者の交通事故防止
- 正しい方法によるシートベルト、ヘルメットの着用の徹底

○若年運転者の無謀運転の追放

この3点です。交通事故は、幸福な家庭を一時にして崩壊させるなど、悲惨なものです。この運動を契機に、家庭、職場、地域で交通安全について話し合うとともに、道路を利用するすべての人がお互いに相手の立場を考えて、「思いやり」の気持ちと、「ゆずりあい」の精神を持って行動し、事故のない明るく楽しい社会づくりに努めましょう。

銃砲刀剣類の登録を!

銃砲刀剣類の登録鑑定を左記により実施しますから、すみやかに発見者(所有者)自身が銃砲刀剣類を持参し、登録手続きをしてください。

一、日時 毎月第三水曜日

二、場所 愛媛県生活文化センター(松山市北持田町一三九二)

三、持参品

刀剣類	午後一時から四時まで
銃砲	午後三時から四時まで

四、注意

銃砲刀剣類は発見時の状況のまま持参のこと。

五、照会先

県教育委員会社会教育課文化財係、廻(〇八九九)四二二



新委員さん紹介

このたび行政相談委員さんが土居毅(三崎)さんから河野一美(名取)さんにかわりました。行政にかかわる苦情、御意見等がありましたら是非御相談下さい。電話 五四〇〇八六です。



'87「味めぐり佐田岬友の会」会員募集!

あわびだ・サザエだ・サンフルーツだ……
自然大好き人間集まれ!

紺青の空にくっきりと映える白亜の燈台 どこまでも青く澄みわたる海原を二つに分ち、日本一細長い佐田岬半島が悠々と横たわっています。南に宇和海・太平洋を望み、北に国立公園瀬戸内海を擁し、西には「大月みやこ」さんが歌ってる豊予海峡にオレンジ色の船が浮かぶ四国最先端に位置しているのか私達の町、三崎町です。

三崎町は、日本一美味しい〔柑きつ〕の産地として知られ、また、新鮮な魚貝類の宝庫としてその名も高く、海山の自然の恵みをいっぱい受けて、温かい人情とともに香り高い文化と、逸話伝説のロマンの町でもあります。

陸の孤島と言われた三崎町が国道(197号線)バイパスの完通に先立ち、今初めて聖地伽藍山・阿弥陀池・黄金砦伝説の神秘のヴェールを脱ぎさり、ふるさとの味にタブーな香りを添えて、ご活躍の皆様方に、海と山の幸の宝庫・三崎町から熱いラブコールをいたします。

『味めぐり佐田岬友の会』会員へのご加入を心からお待ちしています。

季節ごとにお送りする特産品例示

4月友の会

- 清見タンゴール(高級柑橘)
- ひじき ●サンフルーツ
- アワビ ●サザエ等

10月友の会

- 甘夏マーマレード
- つわの粕づけ
- さつまいも
- 三崎銘菓(タルト)等

12月友の会

- 瓶うに ●伊勢海老
- ボンカン
- 三崎銘菓(あこう樹)等

「味めぐり佐田岬友の会」入会手続

年間会員と季節会員に区別します。会費は次の通りです。

- ★年間会費/20,000円
- ★季節会費/ 4月友の会 8,000円
- 10月友の会 4,000円
- 12月友の会 10,000円

お申し込み方法

- ① 年間会員は11月末日まで、季節会員はそれぞれ前の月までにお申し込み下さい。
- ② 友の会員と特産品受取人が別の場合は振替用紙裏面に受取人の住所、氏名をご記入下さい。
- ③ お申込み口座番号 徳島 6-22883番 口座名 味めぐり佐田岬友の会

「味めぐり佐田岬友の会」会員の特典

1. 会費受領後「味めぐり佐田岬友の会」会員証(テレホンカード)をお届けします。
2. 会員登録された季節になりますと郵便小包等にて、季節にふさわしい特産品を直送いたします。(詳細は別記のとおりです。)
3. 広報「みさき」をお届けします。
4. 旅館・民宿及び佐田岬燈台コマンドキャンプ場バンガローが割引きでご利用いただけます。
5. 郷土の芸能行事「秋祭り」等の見学幹旋をいたします。
6. 「みかんの木」オーナーに格安でなれます。



みかんの木オーナー制度

ふるさとの「みかんの木」オーナー制度を設けました。収穫しお届けします。

品名	本数	オーナー価格	収穫月	想定収穫量
清見タンゴール	1本	12,000円	3月	20~25kg
伊予柑	1本	6,000円	1月	30kg
サンフルーツ	1本	6,000円	2月	35kg
甘夏柑	1本	6,000円	2月	35kg

- * 契約期間は1年間です。
- * 自分で収穫してもよし、郵送でもお送りします。
- * 園主との交流が生まれます。
- * おでかけの節は宿泊の幹旋をいたします。

「味めぐり佐田岬友の会」 会長(三崎町長) 杉山 茂丸
実行委員長 加藤 善隆

●お問い合わせ先 愛媛県西宇和郡三崎町三崎692番地 三崎町役場 産業課
TEL/(0894) 54-1111 内線(54)



救急自動車

- 患者のいる場所(住所、目標となるもの)
- 患者の年齢と性別
- けがや病気の状態(出血、意識の有無など)
- 通報者の氏名(電話番号を正しく)

＊救急車を呼ぶときの注意
救急車を呼ぶときは『局番なしの119番』をダイヤルします。119番の通報により適切な医療機関を手配しますので、次のことを、あわてずはつきり通報して下さい。

救急車は、現場から急いで病院に運ばないと症状が悪化したり、生命に危険を及ぼす疾病者や、また救急車でない時、緊急に搬送する手段がない場合に利用するものです。

救急車は正しい利用を

なるほど。ザ・木材

木を捨てた都市

ある木材屋の主張

「木造家屋を主体とする我が国の都市は、防災面からみて問題が多い構造となっている。」(建設白書53年)という役所の意見に押し切られて日本の都市は「木」を捨ててしまった。ある建築家は「日本の町並みが安っぽく見えるのは、木が無いせいではないか。」という。単にミドリが消えてしまったというだけでなく、町の中から「木質」の部分がなくなってしまった。ピカピカ光る建物、ピカピカ光る車、味もそっ気もないコンクリート。気分をおちつかせない材料ばかりが町の中に蓄積されていく。それはそれである面では、やむを得ないかも知れない。木造主体の都市はたしかに防災面の問題はあろうと思う。しかし、木を捨ててしまった都市は、心の面で重大な問題を抱えてしまったのではなからうか。木の知恵を捨ててしまったと同時に、生きる感情も捨ててしまったのではないだろうか。

最近の公共建築物、あらゆるオフィスは、木を捨ててしまった。昔の学校建築はすべて木造であったが、戦後の校舎はすべて鉄筋コンクリートとなり木を捨ててしまった。ある教育者は「昔の木造の教室の方が家庭的な雰囲気の中で教師と生徒の交流

通しをよくすれば、健康をむしろばまれなくてすむのではないだろうか。

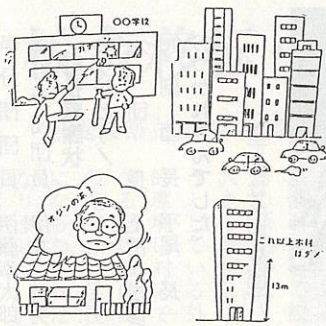
動物は、自然の中にとけこんで身を守り、自然を友にして、巣づくりをしている。人間にも同じような本能がある。この本能を殺さないことが、快適で健康的な生活につながる。日本の風土にあった木造住宅こそ人間の本能に適した住居ではないだろうか。

税金には、いろいろな種類があり、それぞれ納める期限が決まっています。この納期限までに完納されない滞納ということになります。

税金を滞納した場合には、年率一四・六％の延滞税がかかります。また、督促を受けてもなお納税が行われない場合には、財産の差し押さえ、さらには公売が行われることがあります。

滞納は割に合いません。納期限までに、あらかじめ納税資金の準備をしたり、振替納税制度を利用するなどして、税金は期限内に完納しましょう。

なお、やむを得ない事情により納期限までに納税できない場合には、税務署で相談下さい。



消防自動車が教材に

二名津小学校(二宮政夫校長、七十四人)に消防車がプレゼントされ喜ばれています。

二名津分団では、十七年間使った消防車が廃車、払い下げになるのを機に、子供たちのためにと小学校に。

又雨さらしではすぐ傷むと、地元の建材会社や製材所が資材を提供し、団員を主体として勤労奉仕、校庭の隅に消防車格納庫を造り上げました。

広さは二十平方メートルほど赤い屋根の格納庫は正面と片側が



オープン。子供たちが自由に出入りし、乗って遊べます。

税金の滞納は割に合わない

だより 税務署



滞納は割に合いません。納期限までに、あらかじめ納税資金の準備をしたり、振替納税制度を利用するなどして、税金は期限内に完納しましょう。

なお、やむを得ない事情により納期限までに納税できない場合には、税務署で相談下さい。

春眠



「春眠を覚えず」とはどういうことかと中学生に聞いたら、「受験勉強から解放されて眠りたいだけ眠ること」だと答えた子がいたとか。

笑えない話ですね。

春眠という言葉は、唐の詩人孟浩然の詩に、「春眠を覚えず、処処啼鳥を聞く」とあるのが出典です。

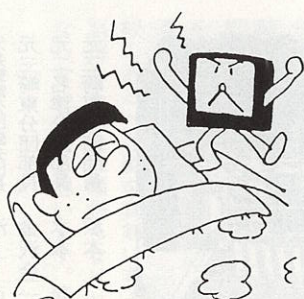
暑からず、寒からずの、ほんわかした春は快い眠気をさそいます。俳句歳時記(図説俳句大歳時記・角川書店)にも春眠の句がいろいろ出ています。

「春眠をむさぼりて悔いなかりけり・久保田万太郎」、「春眠の身の門を皆外し・上野泰」、「春眠や女人にかへる尼の顔・小川素風郎」などいづれも心地よげな春眠をよんでいます。

眠りといえば、怖いのは運転中の「春眠」です。春はドライブ・シーズンでもあり、年度変わりでの往来が激しくなる時期でもあるので、運転中の居眠りには注意したいものです。

ところで、春の行事のひとつに四月十八日の「発明の日」があります。この日は、現在の特許法の前身である専売特許法が公布された日(明治十八年四月十八日)を記念して、特許制度の普及のために設けられたものです。

昨今の科学技術の進歩にはめざましいものがあります。将来、居眠り運転を防止する機械が発明されるといいですね。



盛大に・緊張の出初式

三月十五日早春の日射しが、目に沁む。三浦副団長の「集まれ」の号令のもと本部分団以下十五分団の整列、団長以下三百六名の人員報告と式は進む。

なかでも普段の整備点検が要求される機械器具の点検コーナーでは、高浦分団が指令され、間髪をいれずエンジン始動。さらに消防団としての必須条件である規律訓練、ポンプ操法の競技も整然とスピーディーにこなし、参列した関係者の方の安心をかっていた。

表彰部門では、日本消防協会会長章に宮本団長。名取小学校児童会長の団長感謝状まで、数多くの賞がわたされ、閉会しました。閉会後は自動車ポンプ、小型ポンプ一斉の放水が三崎浅橋で行われ、壮大さを示した。

表彰並びに

感謝状受賞者

おめでとう！

1、日本消防協会会長表彰
精 績 章 長 宮本 萬直

勤 統 章 長 宮本 萬直

2、愛媛県知事表彰
松分団分団長 清水 栄

功 勞 章 本部分団長 富士田龍生

3、愛媛県消防協会会長表彰
勤 統 章 正野分団分団長 渡辺 一

20年以上
松分団副分団長 高岸 助利

15年以上
明神分団班長 若松 富男

三崎東分団分団長 山下 博

大佐田分団分団長 梶谷 吉幸

三崎東分団副分団長 小松 照吉

三崎東分団副分団長 田中 正朗

正野分団副分団長 阿部 甫直

10年以上
三崎西分団分団長 杉山 村夫

申分団分団長 山内 節雄

二名津分団分団長 平井長代泰

釜木分団分団長 鶴井 尊一

三崎西分団副分団長 菊池 正男

規 律 章 名取分団分団長 西谷 年春

佐田分団分団長 中村 精次

内助功勞者 三崎 宮本千恵子

平磯 浅野 美榮

4、八西消防連合会長表彰
分 団 名 無 火 災 期 間 備 考

釜木分団 46・12・27、15年2月 特竿頭 綾

三崎東分団 46・12・27、15年2月 竿頭 綾

三崎西分団 58・11・13、3年4月 竿頭 綾

名取分団 49・7・26、12年7月 竿頭 綾

規 律 章 二名津分団副分団長 堀内 保

佐田分団副分団長 宮川 治夫

大佐田分団副分団長 山下新一郎

二名津分団副分団長 阿部 一孝

松分団班長 山本 一之

名取分団班長 木村 栄樹

三崎西分団班長 井上 達昭

内助功勞者高浦 富士田佐代子

5、町長表彰
与修分団副分団長 加藤 忠孝

申分団副分団長 中村 忠雄

松分団副分団長 梶原 千善

二名津分団副分団長 梶井 初秋

二名津分団班長 平尾喜久雄

名取分団班長 梶原 信明

明神分団班長 山本 信一

三崎東分団班長 玉里 英一

三崎東分団副分団長 荒川 盛夫

三崎西分団副分団長 横山 芳一

井野浦分団副分団長 塩崎 忠夫

与修分団副分団長 竹本 新一

申分団副分団長 田中 正則

申分団副分団長 伊藤幸太郎

正野分団副分団長 伊井 為男

6、町長感謝状
ありがとうございます！

元 団 長 上田 松彦

元 副 団 長 平尾 長一

おつかれさんでした。
(手前は名取分団)



(退団者の部)
三崎西分団分団長 杉山 村夫

三崎東分団分団長 山下 博

与修分団分団長 村山 孝行

正野分団分団長 渡辺 一

名取分団分団長 西谷 年春

三崎東分団副分団長 小松 照吉

三崎西分団副分団長 菊池 正男

平磯分団副分団長 阿部 春原

三崎東分団副分団長 田中 正朗

申分団副分団長 岡崎 告夫

三崎東分団副分団長 宮部 久志

申分団副分団長 田中 正則

申分団副分団長 阿部伊勢男

名取分団副分団長 水根 福雄

平磯分団副分団長 浅野萬十郎

7、団長感謝状
ありがとうございます！

元 副 団 長 古沢 秀彦

山口 松壽

名取小学校児童会

8、退職報償銀杯(伝達)

元 副 団 長 平尾 長一

元 明神分団分団長 川本 為松

元 松分団分団長 藤井達明

元 明神分団副分団長 藤田 繁則

元 三崎東分団分団長 上田 松彦

元 井野浦分団分団長 中村龜三郎

元 三崎東分団副分団長 山本 治洋

元 三崎西分団副分団長 溜池 保政

若宮 公愛

元 三崎西分団副分団長 若宮 公愛

部落のみなさんよろしくお願ひします

区長・常会長さんが交替した部落がありますので、お知らせします。

区長・常会長各簿

(昭和62年4月1日現在)

部落名	世帯数	組数	氏名	電話番号	備考
三崎	548		橋本基次	54-0145	62.4.1
須賀	110	10	阿部勝久	54-1598	〃
中村	52	6	清家岩雄	54-0672	〃
札場	69	7	田中正朗	54-1601	〃
上	86	7	末廣嘉明	54-0573	〃
杉山	57	6	小松兵衛	54-0089	〃
中西	44	4	山下福治	54-0938	〃
大西	26	2	梶原吉治	54-0936	〃
赤坂	25	3	山下久夫	54-0350	〃
川元	17	4	山本音吉	54-1349	〃
中尾	34	3	川内富蔵		56.4.1
サザエバヤ	16	3	岩本伊予一	54-0131	62.4.1
灘	12	2	磯崎春夫	54-1024	〃
高浦	61	4	高田久夫	54-0109	〃
佐田	36	3	中村重徳	54-0865	62.1.1
大佐	59	4	大石憲吉	54-1844	62.1.3
井野	72	4	宮本宗一	54-0590	62.1.5
与	132	11	二宮順一	54-1786	62.1.1
串	166	19	梶原善次郎	56-0558	62.1.3
正野	191	17	島崎正一	56-0008(事) 56-0554(自)	62.1.12
二名津	230	25	浅野愛明	54-0625	60.7.15
明神	55	8	山本照康	54-0385	62.1.3
松	105	11	中村隆保	54-1567	61.1.1
名取	152	20	山下兵吉	54-0885	62.1.12
釜木	73	10	清水又重	54-1733	62.1.1
平磯	25	4	梶原修	54-1393	62.1.1
三崎副区			松田修	54-2063	62.4.1
合 計	1,905	196	(世帯数は61年12月31日現在)		

三崎



緊張の中表彰式

ちのびと

かなしみ

六十二年
三月一日
三月三十一日

結婚

お二人の

ご多幸を

お祈りします

出産

健やかなご成長を

お祈りします

死亡

謹んでご冥福を

お祈りいたします

知ツク・なつとへ

どっちが正しいか

これが正式

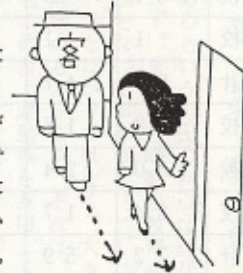
会社への来客を案内するときは、かならず客より1歩下がって歩く/客の左前を先になって歩く。



客の左前を半身を開きかげんに歩く

お客様の前を歩くのは失礼だと考えがちですが、後を歩いたのでは案内することができません。やはり、前を歩くべきですが、その場合、真ん前を歩いたのでは、お客様の視界をさえぎることになるので好ましくありません。

お客様の斜め前を、お客様のほうに半身をやや開くようにしてご案内するのが適当です。国際間の約束では右が上位。そこで、来客や上位者を右側にしますから、案内者は左前を歩きます。



詰将棋

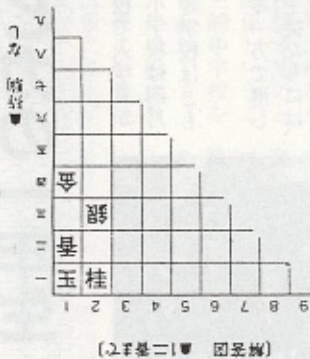
コメント

▲1-1銀の存在を後立てます。

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							銀	一
							王	二
			角	馬				三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

▲持駒 金番

▲1-1銀の存在を後立てます。
▲持駒 金番



(上)王様二(下)図空城

さざなみ旬会

海苔掻くや逆白浪の立つ岩場
名残りの雪卒業式を消めけり
大ぶくり花の群れ咲き灯台路
吾が窓に咲く満開の菫袴
寝るだけの我家に掃り春の月
芽桜を見にくる如く波しぶく
みる人も無き山ざくら咲き競う
菜種梅雨昼の隙子の灯り居る
合格報空を流るゝ花言葉
初蝶の低く舞い来る嫩の先
春潮に石を落して埋立工事
山越えて散髪に米る卒業生
春彼岸合掌ながき不肖の子
月はまだ矢張り無垢なるや藤たる

もうすぐ満開



- 中谷 段々子
- 梶谷 すみれ
- 金森 久栄
- 宮部 スミエ
- 宮本 マサ子
- 阿部 須磨子
- 結城 時彦
- 池上 馨
- 梶谷 山萩
- 中村 千代香
- 山内 良子
- 向井 里水
- 足沢 岩兼
- 阿部 八重